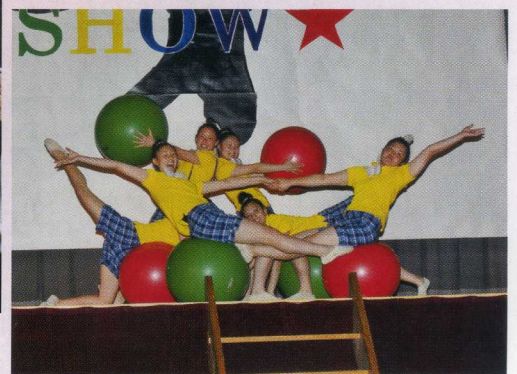


静岡県立小山高等学校

同窓会報 第3号

発行
静岡県駿東郡小山町竹之下369
静岡県立小山高等学校同窓会
TEL 0550(76)1188代

平成22年 3月31日現在
全日制卒業生 5,888人
定時制卒業生 511人



一九九七年四月、二年生の男子生徒が
自転車事故で命を落とす痛ましい出来事
がありました。生徒の家から後日、多額
の寄付が学校にあり、教職員でその使途
を考えていた時、彫刻家 杉村孝氏の講
演会が本校で催されました。そこで同氏
に事情を説明し、モニュメントの作成を
依頼したところ、快諾を得て翌九八年一
月、「と」のモニュメントが運動場入口
に設置されました。「と」の意味は「A
かBか」という西洋的の二元論ではなく、あ
なたと私という時の両者の間にある目に
見えない部分を洞察せよ。」との同氏の
哲学を表したものであります。現在、同
窓会表彰の記念品としてこのモニュメン
トのレプリカを使用しています。

モニュメント「と」



活躍する卒業生

矢沢 小吉

【本名：清水 淳一】

永らんと、果てしなく愛し続ける
ロックン・ロール・ドライバー!!

The Name is ...
YAZAWA SHOKICHI

知る人ぞ知る、
小山高等学校伝説の一期生!



・小山町出身、一九八八年小山高等学校卒業。
（第一期生）
・在学中は、当時流行っていたヒップアップハイスクールを彷彿させるような「いでたち」で己の信念を貫き、在校生はもとより当時の教師達にも一目を置かれていた。
・愛する妻と三人の子供たちに囲まれ、現在はトラック野郎として全国を飛び回っている。
・矢沢小吉として沼津市を拠点とする県東部地区を中心に精力的にライブ活動を行っている。今や地域の夏祭りには欠くことのできない存在となっており、老若男女を問わず幅広い世代からの支持を受けている。
・息子も昨年度小山高校を卒業し、親子二代にわたり母校を温かな眼差しで見守っている。
・今後もライブを通じて、学校や地域の人々に生きる喜びを与えるとともに、お世話になった方々への恩返しを念を籠めている。

トータルテンボス

藤田 憲右

昭和六十年の開校以来、全日制と定時制を合わせて約六、四〇〇人の卒業生を世に送り出してきた我が母校県立小山高校。社会の第一線で活躍する小山高OB、OGたちの中でも一際、異彩を放っているのは人気お笑いコンビ「トータルテンボス」の一人・藤田憲右さん（全日制七期生。平成六年卒）だろう。

在学中は、野球部に所属、特に三年夏の大会ではエースとして文字通り大車輪の活躍を見せた。一回戦（対湖西）と二回戦（対沼津高専）の二試合連続一安打完封は、野球部OBたちの間で今なお、語草だ。現在も芸人仲間たちとともに作った草野球チーム「アップロモンキーズ」で奮闘しており、高校球児魂をいつまでも忘れない藤田さんの心意気を垣間見ることが出来る。

高校卒業後、幼馴染の大村朋宏さん（沼津東高卒）に誘われてトータルテンボスを結成。長く厳しい下積み生活も経験したが、平成十九年のM-1グランプリ準優勝を機に大ブレイクしたのは皆さんもご存知のとおり。藤田さんの一見たら絶対忘れられなくなる巨大アフロヘアと、流行語としてすっかり定着した感のある「ハンパねえ」をはじめとする切れ味鋭いツッコミの数々は、今やテレビのバラエティ番組などに欠くことのできない存在だ。これからも時代の先端を突き進むお笑い芸人として活躍してくれらるろう。

ご挨拶



同窓会長
鈴木 新一
（第二期生）

すばらしい教育環境に恵まれた足柄の地に、静岡県立小山高等学校が創立され、約四半世紀の歴史を積み重ね、同窓会員も約五千名を数える規模となり、会員の皆々様にはお元気な状態で活躍されている事と心からお喜び申し上げます。さて、同窓会報第二号発行以来約二年が経過しましたが、この度関係各位のご尽力により第三号を発行できますことに対し、この場をかりて厚く御礼申し上げます。全国的に深刻化する少子化の問題で学校自体が閉鎖される事も珍しくなく、また、決して有利とは言えない地理的立地条件にも拘わらず毎年多くの新入生を迎えられている現状は「満足度No.1の学校」を目指し熱心な取り組みをして下さっている御協力先生をはじめ多くの先生方の御指導や御協力、また保護者の皆様の温かい支えが各方面から評価されていることだと確信しております。同窓会長として改めて、御礼を述べさせていただきます。誠にありがとうございます。

日本社会は今、政治の混乱や経済の低迷、各業界の不祥事など暗い事件・出来事が続発しており、人間関係が疎遠になりがちになつていきます。こういう時こそ、同じ学び舎で過ごした仲間達唯一の共通組織『同窓会』を通して温かい人間交流が計られる事は大変有意義なことだと思います。今後も私達執行部は同窓会の更なる充実のため、役員一丸となつて鋭意努力してまいります。その上で、改善すべき点があれば、皆で十分協議し修正して参ります。今後も、我が母校、小山高校のさらなる飛躍の為に、会員の皆々様の御助言、御協力をお願いいたします。最後に本校の発展と同窓会の皆々様の御活躍を心からお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。

「山高」の校風を大切に



校長
杉山由美子

本校は、昭和六十年創立以来、地元の皆様をはじめ同窓会その他各方面から温かな御支援をいただき、今年で二十六年目を迎えます。

平成二十年度には、同窓会の皆様の御支援により、全普通教室にプロジェクターが設置され、現在、様々な授業において幅広く利用されています。本文映写、早い画面切り替えによる生徒中心の言語活動、動画利用により、「わかりやすく興味があく」と生徒にも大変好評です。進路面談にも使われる等、本校の質の高い教育活動の実施に欠かせぬ存在となっております。皆様の御支援に、この場をおかりして心よりお礼申し上げます。

在校生たちは、学習面はもちろん、部活動や弓道・茶道の「校技」、笙陵祭・クロスカントリーといった伝統行事に、実に生き生きと取り組んでおります。仲間と共に行事に燃え、自らを鍛え、学校生活を存分に楽しむという校風は、同窓生の皆様が残してくださった「山高」の貴重な財産であり、今後も大切にしてまいりたいと思っております。

本年度は、学力・進路実績向上にも更に力をいれ、「満足度No.1の学校」を目指し職員一同努力をしております。三十周年も真近となり、その際には、同窓会の皆様方を初め、PTA・後援会・学校が一体となり祝うことができればと考えております。変わらぬ御支援をお願い申し上げます。皆様のますますの御活躍を祈念いたします。

母校の近況



全日制副校長
棚橋まり子

北駿地域の「面倒見のよい普通高校」として、生徒・保護者「満足度NO.1」の学校を目指して、平成二十二年度の小山高校がスタートしました。

開校二十六年目の本校には、真面目で一生懸命頑張る校風が根付いており、校内での爽やかな挨拶やしつかりとした身だしなみなど落ち着いた学校生活が営まれていきます。

小山高生のよさが、存分に発揮されるのが学校行事、特に笠陵祭です。本年は六月四〜六日に「魅せる」笠陵祭をテーマに、生徒会を中心に工夫を凝らした展示や劇・ダンスなどが見られました。体育の部では、三年生のカラーリーダーのもと、上級生が下級生の面倒をよく見て、熱い応援が行われ、感動的な笠陵祭でした。



H22笠陵祭体育の部



台湾訪日教育旅行団歓迎会

本年度は「個々の進路実現に向けて、きめ細かな学習・進路指導」をと、一年生の初期指導、二年生の放課後の自習室の設置など新たな取り組みをいくつも始めています。卒業した三年生に続き、満足度の高い進路実績を上げたいと頑張っています。

部活動では、男女ハンドボール部、弓道部、女子バレー部、卓球部、女子バスケットボール部、陸上部が県大会へ出場しました。特に陸上部の三年内海将貴君は、東海大会100m走で六位に入賞し、沖繩で行われるインターハイ出場を果たしました。多くの生徒が、文武両道を目指しています。

また、日頃お世話になっている小山町や御殿場市へ地域貢献をしたいと、ボランティア活動など一部活一交流を計画しています。四月には台湾から約七十名の高校生が本校へ来校し、交流を深めました。夏には、小山町と姉妹都市である中国海寧市へ代表七名がホームステイします。このように、様々な活動を通じて、「人間力」を磨いています。小山高校HPで、生徒達の生き生きとした活動を伝えるように努力していきます。卒業生の皆様も是非ご覧いただきたいです。

今、定時制で



定時制教頭
高梨 文憲

小山高校定時制は、地域の強い要望を受けて、町立の分校として、戦後間もない昭和二十三年に産声をあげ、爾来多くの勤労青少年に学びの場を提供して来ました。小山高校が新設された際に、小山高校の定時制課程として、現在の地で再スタートを切り、早いもので、四半世紀が過ぎました。時代とともに、定時制高校の役割と位置づけが大きく変わってきました。現代では

中学卒業後の正規就職先はほとんどなく、経済的な事情を抱えた生徒や、小中学校時に不登校に陥ってしまった生徒達の再学習の場となっています。また昨今、全国的に夜間定時制高校の再編が進んでおり、定時制高校の数が減少しております。この静岡県もその例に漏れず、東部地区にある夜間定時制高校が、来年の三月で三校が閉課程となります。北駿地区にある本校は、地理的条件を考慮しても大きな役割を担っており、



陸上全国大会5000M決勝

本校定時制は地域社会に支えられた学校であることを強く意識しながら、校歌に歌われるように「いかなる時代もたくましく生き抜ける人間」の育成を目指し、基礎基本の定着

をまず第一の目標とされています。更に、卒業後実社会で役立つ一員となるために、学校行事等を通じて社会性を育てることも力を入れております。その表れとして、昨年、平成二十



新体力テスト大会表彰式

一年度は全国大会に八年連続で出場している陸上部をはじめとして、秋季大会に準優勝した野球部など、部活動に生徒が一生懸命に取り組んでいます。また、本校の伝統にもなっている新体力テスト大会では、大会開始から途切れることなく四十一年連続で優秀校になっています(二十一年度最優秀校)。さらに、生徒生活体験発表大会では、本校代表二名とも東部地区大会で優秀賞に輝き、県大会に進出しました。そしてそのうちの一名はNHK静岡放送局長賞を受賞しました。自らの体験を自らの言葉で語るその姿は、参加した人々に感動を与えた素晴らしい出来栄でしたが、制限時間を越えてしまったための減点で、借しくも最優秀賞を逃してしまい、本当に残念でした。逆に言えば、大幅に減点されても三位相当の賞を得たということは、それだけ参加者の心に響いたという証でしょう。

今年度は、三十三名の生徒が入学しました。そして六月一日現在で、八十八名の生徒たちが在籍しています。専任九名の教職員と強い絆で結ばれた定時制一家は、北駿地区の暖かいご支援とご理解ご協力を受け、月明かりの下でこの

からの困難な時代を生き抜く力を蓄えています。定時制の歴史六十二年、約千六百人に及ぶ同窓諸兄の暖かいご支援を今後ともよろしくお願いたします。



静岡県生活体験発表大会

平成二十一年度 小山高校同窓会 行事予定

- 4月22日(木) 常任幹事会
5月6日(木) 第6回生卒業記念品 屋外掲示板 ガラス修理(学校支援事業)
5月28日(金) 幹事会(今年度は幹事会を総会の代議機関とする)
6月 グラウンド側面石垣防護ネット設置(学校支援事業)
7~8月 小山高校野球応援バス支援
6月 全国大会出場横断幕作成(小山町役場・御殿場駅)(学校支援事業)
8月12日 同窓会会報第3号発行
6月~8月 会報委員会
10月 常任幹事会
1月末 常任幹事会
2月28日 同窓会入会式 同窓会表彰
3月1日 卒業式 卒業証書ホルダー贈呈
空調設備維持管理・パソコン、プロジェクト維持管理(年間) 同窓会ホームページ更新(年間)

平成二十一年度 主な進路状況

- 1 国公立大学・短期大学
静岡県立大 山梨大学 都留文科大
宇都宮大学 茨城大学 静岡県立短期大
2 私立大学
青山学院大 順天堂大 東京農業大
工学院大 龍谷大 杏林大 専修大
女子美術大 国学院大 立正大
駒沢大 聖隷クリストフ大 他
3 専門学校
東京IT会計法律専門学校 御殿場看護学校
東部看護専門学校 東京福祉専門学校
東京デザイン専門学校 東京ヘアメイク専門学校
富士リハビリテーション専門学校 他
4 就職
静岡県警 自衛官 JR東海 ㈱ジーシー
住電装フレッツ㈱ 御殿場テトラパック台
同窓会 ㈱シヨーワ 他

平成21年度 静岡県立小山高等学校同窓会会計決算書

Table with financial data including income and expense sections. Income total: 3,486,015 Yen. Expense total: 2,092,452 Yen. Balance: 1,393,563 Yen.

積立金会計

Table showing accumulated fund accounting for fiscal years 20 and 21, with a balance of 16,030,062 Yen.

田代 治久 (Seal)
岩瀬 貴雅 (Seal)

「笙風 創立十周年記念誌」訂正のお知らせ

下記の部分の記載に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。
29ページ右側下段から1行目(クロスカントリー大会歴代優勝者)
誤 平成5年 濱田正彦
正 平成5年 濱田伸彦
静岡県立小山高等学校

小山高校同窓会ホームページ
http://www4.tokai.or.jp/oyama-h.doso/
HPから住所変更等送信用紙を印刷し、必要事項を書き込んで郵送にて事務局までお送り下さい。

第三号の創刊です。ご協力くださいました皆様には大変感謝しております。平成二十六年に同窓会三十周年記念事業を開催する予定です。その準備に早くも来年から取り掛かりはじめます。HPも活用し、さまざまな情報も発信していきたいと思っております。これを機に、会員皆様の同窓会にきっかけを与え、周年記念事業も盛り上げることができれば幸いです。
これからの皆様のご支援ご協力をよろしく願います。
事務局

編集後記

平成22年度 小山高校同窓会役員

Table listing the executive members of the alumni association for fiscal year 22, including names, birth years, and positions.